



月刊えるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ



修繕ボランティア「工の会(くのかい)」さん

大牟田市社会福祉協議会のボランティア登録団体「修繕ボランティア工の会」さんの作業場にお邪魔させて頂きました。作業中のお忙しい中お話を伺ってきました。

修繕ボランティア「工の会」とは

高齢者や身体の不自由な方たちのために、ちょっとしたお手伝いをとの思いから、家の建具（主に襖・障子・網戸の張替）の修繕ボランティアとして活動しています。

活動のなりたち・きっかけ

社会福祉協議会のボランティア養成講座を受講したメンバーで、平成14年に会を立ち上げました。その後、会のメンバーも入れ替わりながら、できる範囲のボランティア活動を17年間続けています。

普段の活動について

会員のみなさんは他に仕事を持っていたり、地域の役員など様々な役割をされているので、無理のない活動をしています。月に2回作業場に集まり作業をしたり、他愛もないおしゃべりをしながら、和気あいあいと活動しています。最年長の会員さんは92歳になられますが、とても元気にボランティアをしていただいています。活動することが元気のバロメーターにもなっています。

特に多い作業は障子の張替、襖の張替、夏になると網戸の張替の注文が多くなります。依頼を受け作業しますが、材料費と少しの作業代をいただいています。工の会の全員が大工仕事の素人ですので業者さんのような綺麗な仕上がりにとはなりません、みなさんに喜んでいただいています。

今後の目標など

高齢者の皆さんのちょっとした困りごとを迅速にお手伝いできるようになるのが理想です。しかし受付体制や距離など様々な問題があり、そのような活動にはなっていないのが現状です。

興味のある方がいれば、はじめは私たちと一緒に作業をしていただいて、その後地域のコミュニティセンターなどで活躍していただけるとありがたいなと思っています。

「工の会」から新しいグループができ、町内会規模のお助け隊がたくさんできていくのが理想であり、今後の目標になりますね。

取材日の作業の様子

障子の張替作業です。大2枚中2枚を持ってきています。運搬前に障子の枠を洗い、車の屋根に積んで運んできました。三池にあるお宅を利用させて頂いて作業しているので、雨の日や大牟田市の端の方からだとな運搬作業も一苦労になります。



ワクをきれいに拭いています

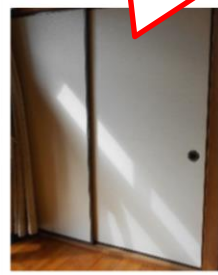


のりを塗り障子紙を張ります



作業場でお借りしているお宅の襖も張りました

できあがり



作業場は終始和やかなムードで、皆さん楽しそうに作業をされていました。地域のイベントやテレビの話、皆さんの最近のご様子などたくさんのお話を聞かせて頂きました。工の会の皆さん、ご協力ありがとうございました。

問合せ先 大牟田市社会福祉協議会
登録ボランティア団体
修繕ボランティア「工の会」

※問合せは大牟田市社会福祉協議会を通してください。